

平成 19 年 9 月 5 日

お客様・株主様 各位

株式会社 ヤマダ電機

月刊現代の記事について

講談社は、月刊現代（2007 年 10 月号）において、「ヤマダ電機の品格<後編>」「メーカーを泣かせ、違法行為も辞さない『拡大の論理』とその限界」と題する見出しを付けた記事を掲載しました。

本記事は弊社に対する取材が全くないまま同誌に掲載されたものであるうえ、その記述部分には一部事実でない記述が織り混ぜられており、本記事は、弊社に対するネガティブキャンペーンを目的とした記事であるとしか考えられません。こうした講談社の報道姿勢は、本来の報道機関の役割を明らかに逸脱したものと考えます。

今後、弊社の顧問弁護士とも相談したうえで、講談社に対し、訴訟等の法的措置を取ることも検討する所存であります。

本記事によりお客様及び株主様にご心配を抱かせてしまったことを心より陳謝致します。

以上